

【港北区】令和 5 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

| | |
|------------|---|
| 開催日時 | 令和 5 年 6 月 8 日 午前 10 時 15 分 ～ 午前 11 時 10 分 |
| 場 所 | 港北区役所 4 階 1 号・2 号会議室 |
| 出席者 | <p>【座 長】佐藤祐文議員</p> <p>【議員：6 名】大山しょうじ議員、白井正子議員、かざまあさみ議員、酒井誠議員、望月康弘議員、大野トモイ議員</p> <p>【欠席議員：1 名】福地茂議員</p> <p>【港北区：19 名】漆原順一区長、卯都木隆幸副区長、北川寛直福祉保健センター長、田畑哲夫福祉保健センター担当部長、奥野雅量土木事務所長 ほか関係職員</p> |
| 議 題 | 1 令和 5 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について |
| 発言の 要 旨 | <p>大野議員： 地域子育てサポート事業で実施している地域育児教室（赤ちゃん会）について、箕輪地区の申込状況を鑑み、5 年度より 1 会場増やして実施しているとあるが、1 会場を増やしたことにより、申込みをせずに諦めてしまっている潜在的な希望者を含めた希望者全員が受講可能な状況になったと考えているか。</p> <p>吉田こども家庭支援課長： 箕輪地区の地域育児教室（赤ちゃん会）については、すぐに募集定員に達してしまう状況であったため、1 会場増やして実施している。1 会場増やしたことにより、希望者全員が受講可能な定員数まで増やすことができているかについては現状では判断が難しいが、引き続き申込状況を注視していきたい。</p> <p>大野議員： 第一子の 0 歳児、この時期が地域や支援と繋がる最初の大事な時期だと思うので、申込み状況を鑑みて、足りないところがあれば箕輪地区に限らず会場を増やしてもらえようをお願いしたい。</p> |

大野議員：

地域における災害時要援護者支援推進事業で実施している要電源医療機器利用者支援事業について、健康福祉局の事業では障害者だけでなく、高齢者も支援対象としているが、港北区の支援事業では障害者のみを対象としているという理解で問題ないか。

阿部高齢・障害支援課長：

まずは、災害時要電源障害児者等登録制度に登録されている方を対象として実施していく。

大野議員：

災害時医療整備事業で実施しているYナースの登録促進と育成について、Yナースの登録人数が年度ごとに資料に記載されているが、現在の延べ登録人数はこの表からわかるのか。

米岡福祉保健課長：

資料にある人数は、当該年度に活躍できる人数を記載している。

大野議員：

初開催のYナース連絡会はどのような感触だったか。

米岡福祉保健課長：

Yナース連絡会はこれから開催する。Yナース登録者にアンケートを取ったところ、横のつながりを希望しているという回答があったため、今年度開催することとした。港北区では64人と多くの方に登録していただいているので、その方々に力を発揮していただきたいと思っている。

大野議員：

Yナース連絡会の開催にあたり、参加人数などの目標はあるか。

米岡福祉保健課長：

港北区では災害時医療の関係において三師会で積極的な交流をしている。その中でYナースの活動の場を広げられればと思っている。

望月議員：

災害に強いまちづくり推進事業で実施しているまるごとまちごとハザードマップの設置について、現在は綱島地区と大倉山地区に設置されているが、設置したことによる区民の反響はどうか。

野村総務課長：

街の中で洪水の被害を実感した区民の方々の中で、洪水への備えをしっかりとしなければというような話題になっていると聞いている。洪水への防災意識が高まったところにさらなる働きかけができるよう、工夫していく。

望月議員：

洪水想定浸水深が建物の2階の高さに相当するような箇所もあり、私も驚いているだけではなく、やや恐怖も感じているが、事業者の方、特に不動産関係業の方々からはどんな反応があったか。

野村総務課長

不動産業の方々からの意見は今のところ届いていない。見上げるような洪水想定浸水深を街の中で実感することができるため、不動産業界の方々にも住民の方に対しても、洪水にどのように備え、どこに避難するべきかをしっかりと案内していきたい。

望月議員：

今後は城郷・新羽地区への設置を予定しているとのことだが、その後の展開はどう進めていくのか。

野村総務課長：

港北区内に洪水浸水想定区域が12地区ある。令和4年度から8年度の5年間で全地区に設置を進めていく。

望月議員：

この取組は鶴見区から始まり、港北区に広がってきたが、今後全市展開する予定はあるのか。

新井田危機管理・地域防災担当係長：

この取組に対する問い合わせを数区の担当者から受けている。非常に良い取組であり、実施を検討したいという意見をいただいている。

白井議員：

高齢者・障害者支え合い推進事業において実施される生活体験事業について、精神障害の方などが退院後に一人暮らしを始める場合の支援があると良いと思っているが、この事業ではそのような方々も対象となるのか具体的に教えていただきたい。

阿部高齢・障害支援課長：

生活体験事業は、精神障害の方を対象としている。西区で行っている先駆的な事業に倣って1か月間マンスリーマンションを区が借り上げ、現在、基幹相談支援センターや生活支援センターで支援中の方に、一人暮らしを体験していただく取組を実施したいと考えている。

白井議員：

精神障害の方に限らず、身体障害者の方からの相談もあり、一人で住む場所を探すことに苦労しているようである。行政に相談しても寄り添った支援が得られなかったという声も聴くので、ぜひ利用しやすい制度にしていきたい。

白井議員：

マイナンバーカードに本人の銀行口座ではなく、家族の口座や別人の口座が紐づいているケースが相当数あるという報道が全国的にされているが、港北区で発生している同様のケースの件数を教えていただきたい。

二宮戸籍課長：

現在横浜市で同様のケースが何件発生しているかについての明確な数値は発表されていない。今後市民局等と連携して取組を進めていく。

白井議員：

このようなことがあるとマイナンバーカードに対する信頼に不安が広がる。戸籍課と新横浜のマイナンバーカードの交付窓口では、子どものマイナンバーカードの交付の際は、紐づける銀行口座についてどのように案内をしているのか。

二宮戸籍課長：

マイナンバーカードと銀行口座の紐づけについては、区役所4階のマイナポイント支援ブースで案内しているため、マイナンバーカードの交付窓口では、詳しい案内はしていない。今後は、必要に応じて交付窓口でも丁寧な対応をしていきたい。

白井議員：

説明不足、周知不足がこのような不安な事態を招いていると思うので、区役所の窓口だけでは難しいかもしれないが、市民の不安が解消されるような対応をお願いしたい。

大山議員：

災害に強いまちづくり推進事業で新たに実施する配信サイト YouTube 等を活用した防災啓発について、どのようなイメージの動画でどのような啓発をするのか、事業効果の検証はどのように行うのかを教えてください。

新井田危機管理・地域防災担当係長：

動画については、今後任命を予定している港北区防災大使に出演いただき、風水害や震災への備えについて啓発する動画の作成を予定している。港北区にゆかりのある著名人に出演いただくことで少しでも区民の興味を引くような動画としたい。さらに、動画は YouTube の横浜市の公式チャンネルに投稿するだけでなく、視聴者の位置情報を限定して発信することができる Youtube の広告機能を利用して、港北区在住・在勤・在学の方々により視聴してもらえるようにも工夫していく。新たな取組でもあるので、事業効果の指標の一つである再生回数についてはしっかりと確認及び検証を行っていきたい。

大山議員：

放置自転車対策事業について、駐輪場の関係者から令和5年度に入ってから徐々に自転車の数が増えてきたと聞いているが、現在の放置自転車の状況について教えていただきたい。

岸本地域振興課長：

区内の放置自転車台数は資料に記載のとおり、徐々に減少傾向にあったが、令和4年度は330台と増加している。今後新綱島駅開業に伴い、多くの駐輪場が確保できる見込みである。放置自転車に関しては放置防止監視員を配置するなど、引き続き取組を進めたい。

大山議員：

港北区放課後児童健全育成強化・情報提供事業を実施しているが、各学童と港北区との意見交換の場にはどのようなものがあるのか教えていただきたい。

宮澤学校連携・こども担当課長：

個別の相談対応や施設調査時の訪問等を通じて各放課後児童クラブの状況把握を行っている。今後も様々な機会を通じて意見交換等に努めていきたい。

大山議員：

放課後児童クラブに限らず、現場との連携や意見交換をしっかりと行っていただきたい。

酒井議員：

新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更されたことにより、区内の各地域防災拠点で訓練が再開されるなどの動きがあると思うが、各自治会町内会の動きを教えていただきたい。また、災害に強いまちづくり推進事業で実施する地域防災拠点訓練参加者向け保険にはこれまでも加入していたのかを教えていただきたい。さらに、港北区防災情報アプリを総務局が実施する横浜市避難ナビに集約するにあたり、どのように移行する予定なのかを教えていただきたい。

野村総務課長：

地域防災拠点の訓練については、昨年度も縮小しながら全拠点実施した。今年度については、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ変更されたことにより、各地域防災拠点でより精力的に訓練が実施されることが想定されるので、円滑に訓練が進むようサポートしていきたい。地域防災拠点訓練参加者向け保険は、昨年度以前も加入している。港北区防災情報アプリについては、広聴で機能が重複しているアプリが2つあることで有事の際にどちらを利用すればよいかわからないという声もいただいているので、現在港北区防災アプリに登録している方々に、横浜市避難ナビへの移行についての案内を進めていく。

かざま議員：

日吉駅周辺の自転車について、一時利用が午前9時頃には満車になってしまい、自転車一時利用難民のような状況に陥る方がいる。このような状況を把握しているのか、また解消できる目途が立っているのかについて教えていただきたい。

岸本地域振興課長：

日吉駅周辺の駐輪場の状況については、広聴等により把握している。駐輪場の整備については、すぐに増やすことは難しいが、道路局と連携し、現地を確認しながら取り組んでいきたい。

かざま議員：

多くの方が困っているので、早めに対策を進めていただけるとありがたい。保育園などの空きスペースなど、駐輪場以外にも駐輪可能な場所の提示があると良い。

備 考